ジェトロ・上海事務所
2023 年 2 月 3 日作成

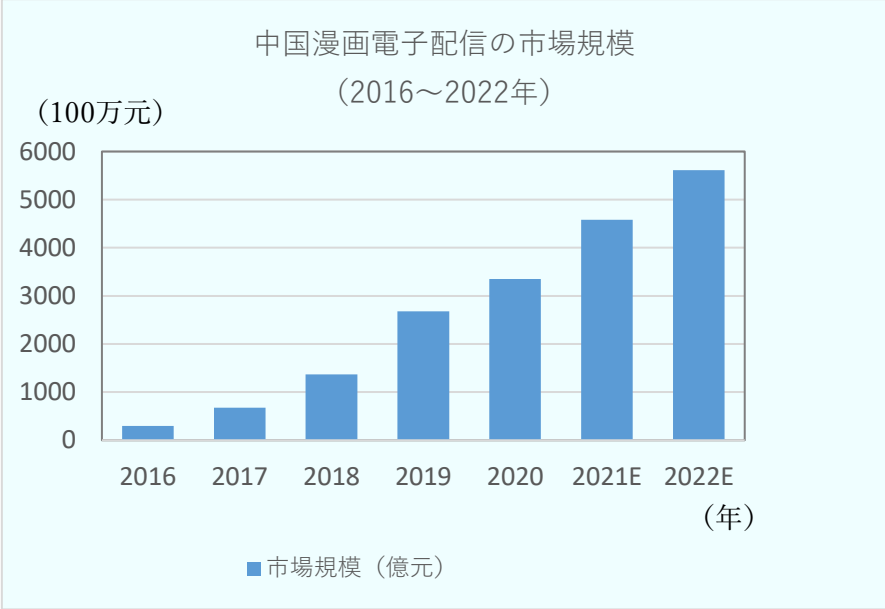
漫画業界、著作権侵害対策強化等により比較的参入しやすい市場に（中国・上海発）

中国の漫画市場概要およびバイヤーへのインタビュー報告

中国の漫画市場は、近年、デジタル配信の普及により、市場全体が急速に拡大している。さらに、官民による著作権侵害対策が講じられたことで、健全な市場が形成されつつある。また、他のコンテンツ（アニメ、映画、ゲーム等）と比べて、配信元による自主審査のみで当局による検閲が不要であるため、海外作品にとっては比較的市場参入のハードルは低いといえそうだ。以下、漫画市場の概況と、現地で漫画配信に携わる企業へのインタビュー結果を報告する。

＜拡大する中国漫画電子配信市場＞

中国の漫画市場について、シンクタンクである艾媒網の発表よると、2020 年の中国デジタル漫画配信の市場規模は 33.5 億元であり、年成長率は約 25％となり、2017 年との比較では約 5 倍に拡大した。さらに、2021 年の市場規模は 45.8 億元で、2022 年は 56.1 億元となっている 。急拡大する中国漫画市場には日本の漫画会社も積極的に参入している。2019 年 4 月には、メディアドゥ（日本）と Bilibili 漫画が提携を発表し、2021 年 8 月には Link-U（日本）と快看漫画がライセンス契約を締結する等、近年、参入事例が増加している。



出所：産業信息網「2020 年中国動漫行業発展現状及動漫行業趨勢分析」より作成

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

＜中国の漫画読者の動向＞

近年の中国での漫画読者の動向については、急成長期を経て、安定成長期に入りつつある。特に 2020 年からの新型コロナ感染拡大により、在宅時間が増えたことで、漫画（電子配信と紙の本）を読む人が増えており、漫画業界にとっては好材料として捉えられている。

電子配信の課金については、2017 年まで、中国の読者は課金に対する習慣がなく、なおかつ、海賊版漫画が多く出回っていたため、各プラットフォームでは基本的に無料で読むことができた。しかし、無償提供は IP ホルダーや作家の利益を損うため、2017 年からは新作を対象に、課金が徐々に普及した。2020 年以降は、本格的に課金制度が導入され、現在の相場観として、0.5～0.8 元/話（1 元＝約 19.3 円、2022 年 12 月現在）で課金されることが一般的となった。

また、2017 年までは、主に日本漫画をはじめとする海外漫画で占められていたが、17 年以降、政策の誘導等で、中国漫画も日進月歩で進化しており、質の高い作品が次々と配信され、読者も次第に中国漫画を受け入れはじめている

＜漫画分野における主な規制＞

冒頭で述べたように電子配信は、原則当局による検閲は不要であり、各配信サイト、プラットフォーム等が自主審査のみを行えば足りる。ただし、当局は定期的に、自主審査状況、配信する作品の内容などを確認している。配信サイトが自主審査を怠っていないか、作品が禁止内容（法律違反、国家統一を害する内容、猥褻、賭博、暴力、公序良俗違反等）を含む場合、配信サイト運営事業者、プラットフォーム等には、警告、改善命令、過料等の行政処罰が科される。

また、作品自体の内容だけでなく原作者の言動が不適切と判断された場合には、配信が中止され、アニメ、映画、ゲーム等にも影響及ぶ可能性があるため、十分留意する必要がある。直近では、2020 年 2 月に、漫画「僕のヒーローアカデミア」259 話に登場した人物の名前「志賀丸太」が旧日本軍の 731 部隊を連想させるとして、中国国内で炎上し、配信サイトが急遽漫画の配信を中止したと同時に、同作のアニメおよび映画の配信も中止した事例がある。

＜ヒアリング調査結果＞

中国で海外漫画を取り扱う企業にヒアリングを行った。

【A 社】（所在地：杭州市、余杭区、面談者：副総裁）
質問：現在取扱中の主な作品と、その販売動向は。

答え：当社は 10 数年前から、漫画配信事業を開始し、主に、日本の漫画作品を取り扱っている。集英社（JUMP 作品）が大半を占めており、他には小学館やスクエアエニックス

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

などと提携している。ただし、近年は事業拡大の中で、漫画中心の IP を用いた商品開発を手掛けはじめ、2022 年現在、売上の 7 割が商品で、3 割が漫画となっている。
媒体については、日本と同様、主にデジタル配信と紙媒体が並存している。中国では、デジタル配信漫画は自主審査のみで当局による検閲が不要のため、海外作品の多くはデジタル配信を選び、早期の展開を果たしている。当社の場合は、現在、デジタル配信と紙本の割合は売上ベースでは 3：1 となっている。

質問：最近の漫画市場のトレンドとニーズ、その理由は。

答え：漫画に関して、読者の性別からみると、女性読者が比較的多いため、女性向けの作品の売れ行きが良い。一方、年齢別でみると、現在の消費の主力は 95 年以降生まれの世代であり、新作が人気を集めやすい。
国別については、2015 年あたりまで、日本漫画がほぼ市場全体を占めていたが、2016 年頃から、中国製漫画が次第に市場から認められ、近年大きな成長を遂げている。2022 年現在、中国漫画と日本漫画の市場シェアは半々となっているといっても過言でない。

質問：今後、日本から購入したい商品と望む契約方式は。

答え：一概にどのような作品ジャンルに興味があるということは回答しづらい。ただ、新たな商品を扱う際には、中国市場に適合するかどうかが重要だ。漫画のデジタル配信において、政府当局による検閲が不要であるといっても、不適切な内容を含む作品であると、後に炎上し、事業崩壊の恐れがあるため、注意を払う必要がある。また、中国市場において、漫画だけでは、収益を確保することが困難であり、商品化の成否も一つの判断材料だと思う。
望む契約方式について、大手出版社の S 級 IP なら、MG＋ロイヤルティ方式が多いが、成功の見込みが不明な作品に対しては、完全ロイヤルティ方式が望ましい。

＜まとめ：今後参入を検討する日本企業に向けて＞

中国の漫画市場は、デジタル配信の普及などを背景に、これまで毎年二桁成長を続けており、成長性の高い市場といえる。また、各市場関係者は海賊版漫画を次第に問題視し始め、市場の健全化に取り組み始めたことにより、IP 権利者にとって、比較的参入しやすい市場が形成されつつある。一方で、中国国内の漫画に対する課金額は比較的低く、漫画事業単独では採算化が困難である。より高い収益を確保するためには、アニメ、映画、ゲーム、商品化などを組み合わせて展開する必要がある。実際、日本の漫画を取り扱う中国の関連事業者は数年前から、アニメ化や商品化等を手掛けはじめ、数多くの成功事例を出している。

以上

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.

〇作成：ジェトロ・上海事務所
〇執筆：上海擁智商務諮詢有限公司（IP FORWARD グループ）　張　雋

【レポートの利用についての注意・免責事項】本レポートは、日本貿易振興機構（ジェトロ）上海事務所が上海擁智商務諮詢有限公司に作成委託し、2022 年 11 月に入手した情報に基づき作成したものです。掲載した情報は作成委託先の判断によるものですが、一般的な情報・解釈がこのとおりであることを保証するものではありません。本レポートはあくまでも参考情報の提供を目的としており、提供した情報の正確性、完全性、目的適合性、最新性及び有用性の確認は、読者の責任と判断で行うものとし、ジェトロおよび上海擁智商務諮詢有限公司は一切の責任を負いません。これは、たとえジェトロおよび上海擁智商務諮詢有限公司が係る損害の可能性を知らされていても同様とします。

◆「海外発トレンドレポート」読後アンケートにご協力ください◆

本レポートは皆様の海外ビジネスにお役に立ちましたでしょうか？

今後の参考のため、**役立ち度アンケート**にご協力頂けましたら幸いです。

（所要時間：約1分）

Copyright © 2023 Japan External Trade Organization (JETRO). All rights reserved.